

開催日

6/2 (月)

🕒 開催時間

13:30~14:40

遺跡の 保護と活用



概要)

戦後、大規模開発によって、多くの遺跡が記録保存の名目で失われました。しかし、その中でも重要な遺跡が史跡に指定され、地元の方々の手によって守られ、活用されてきました。その中から、2021年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産となったのです。遺跡の発掘・保存・活用の意味を、遺跡の価値とともに考えてみたいと思います。

講師:越田 賢一郎(こした けんいちろう)

(札幌国際大学縄文世界遺産研究室室長)

元本学人文学部現代文化学科教授。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界遺産への登録に尽力。現在も、遺産の魅力発信に余念なく活動を継続。



🕒 開催時間

14:50~15:40

報告発表

遺跡を誰と観るか… それが問題だ！ ～見方を変えると 味方になる～

概要)

道内各地に点在する遺跡は、地元の方々の手によって守り活かされてきました。今回は、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のうち、伊達市と洞爺湖町の構成資産で活動する市民団体を紹介するとともに、調査結果をもとに市民団体の役割と意義について考えてみたいと思います。

発表者:渡井 瞳(わたい ひとみ)

(札幌国際大学縄文世界遺産研究室学芸事務員)

本学大学院観光学研究科修士修了生(2024年9月)。

考古学×観光の2分野横断の目線を持つ、本学縄文世界遺産研究室の学芸事務員です。修士論文の事例報告をもとに発表します。

参加対象:一般の方(高校生以上の方)

開講場所:本学教室(講座:対面形式)

◆公開講座参加料:1,000円 定員:20名 ※報告発表は聴講無料

(受付・支払手続きご案内のため13時00分までの集合をお願いする予定です。)

◎受講には事前のお申し込みが必要です。
次のURL、またはQRコードへアクセスしてください。
(定員超過した場合は厳選なる抽選とさせていただきます。)



<https://forms.office.com/r/PETqrP5iAC>

お申し込み締切は5月25日(日)まで



5月25日(日)まで受付中
QRコードからお申し込みできます。



お問い合わせ先) TEL 011-881-2410

札幌国際大学生涯学習センター事務局